

## DOHaD 研究投稿規程

平成 26 年 1 月 1 日

### 投稿資格

本誌へ投稿する第一著者は日本 DOHaD 研究会会員に限る。  
ただし、共著者はこの限りでない。

### 投稿内容と採否及び著作権の帰属

1. 論文の種類は総説、原著（臨床研究、基礎研究、症例報告）、その他とし、未発表のものに限る。日本 DOHaD 研究会の学術集会で発表された講演内容を優先的に採択する。この場合、本文の末尾に“本論文の内容は平成〇〇年度日本 DOHaD 研究会第〇回学術集会で発表した”の如く記述すること。
2. 論文の採否は日本 DOHaD 研究会代表幹事より委嘱された査読者の意見を参考にして編集委員会において決定する。また原稿は編集方針に従って加筆、削除、修正などを求めることがある。
3. 投稿論文の著作権は日本 DOHaD 研究会に委譲するものとする。
  - 1) 投稿の際には、日本 DOHaD 研究会ホームページ (<http://square.umin.ac.jp/Jp-DOHaD/>) より Microsoft Word で作成した「投稿ホーム」をダウンロードして使用する。
  - 2) 使用 OS は Windows のみとし、使用するワープロソフトは Microsoft Word のみとする。和文フォントは原則として MS 明朝 10.5 ポイント を使用する。英文フォントは Times を使用する。
  - 3) チェックリスト、原稿およびコピー 1 部（合計 2 部）をそれぞれクリップでとめ投函する。著作権に関する届出書ならびに本学会の利益相反に関する指針に従い自己申告書を添付する。CD-ROM などの電子媒体に投稿論文を保存して同封する。電子媒体に筆頭著者名、使用した OS ならびにソフトの名前を記載する)
  - 4) 論文が受理(accept)された場合は、再度 CD-ROM などの電子媒体に受理された最終論文のファイルを保存して事務局に送付する（電子媒体に筆頭著者名、使用した OS ならびにソフトの名前を記載する）。

### 原稿作成要領

1. 原稿は日本語とする。横書きとし原則として常用漢字を用いる。学術用語は日本医学会の所定に従い、英語つづりは米国式とする。
2. 論文の 1 頁目は表題、所属、著者名（それぞれ英文も併記、姓名は Taro

YAMAKAWA のようにローマ字を併記する)を記載する。英文概要(200 語以内)、和文概要(800 字以内)、5 つ以内の Key words (英語)を記載する(Medical Subject Headings (MeSH, Index Medicus に準拠する)。原則として、英文概要(200 語以内)、和文概要(800 字以内)、緒言、方法、成績、考案、結論、参考文献の順に記載する。統計解析を行った場合は、統計処理法を必ず明記する。英文概要は、英語を母国語とする研究者、あるいは英語が堪能な研究者の校閲を受けてください。

3. 本文中の引用部位の右肩には文献番号<sup>1), 2)</sup>を付け、本文の終わりに本文に示した順に羅列する。文献は研究に直接関係するものにとどめ以下の記載法に従うこと。なお、本邦の雑誌名は各雑誌により決められている略称を用い、欧文誌は Index Medicus に準ずる。なお、著者名を記載する場合、3 名以上の際には山田泰司, 他. Harris D, et al. と略す。

1. Insigna RP, Glass AG, Rush BB. The health care costs of cervical human papillomavirus-related disease. Am J Obstet Gynecol 2004 ; 191 : 114-120
2. Gielchinsky Y, Mankuta D, Rojansky N, et al. Perinatal outcome of pregnancies complicated by placenta accreta. Obstet Gynecol 2004 ; 104 : 527-536
3. 金澤浩二, 前濱俊之, 長井裕, 他. 頸がん と HPV 感染. 産婦治療 2004 ; 89 : 285-291
4. 由良茂夫, 佐川典正, 吉田幸洋, 他. 胎児発育の分子機構. 中野仁雄編集 新女性医学大系 29 : 胎児の成長・発達 東京:中山書店, 2002 ; 125-141

4. 個人情報の取扱いは個人情報保護法を遵守すること。症例報告においては患者のプライバシー保護の面から個人が特定されないよう、氏名、生年月日、来院日、手術日等の記載しないこと。とくに画像診断の写真の個人が特定される情報は消去することに注意する。臨床研究や治験等に関する論文はインフォームド・コンセントを得たことや、倫理委員会・臨床受託研究審査委員会の承認を得た研究であることを明記すること。

5. 論文の長さは特に制限はない。外国の人名および薬品名は必ず原語(一般名)を用いる。度量衡は km, m, cm, mm,  $\mu$ ,  $m\mu$ , l, dl, ml (cc でなく), kg, g, mg,  $\gamma$ , mEq/l, mg/dl などを用い、数字は算用数字とする。

6. 図表(カラーも可)は本文中のカラム(各頁2列)内におさまるように適宜挿入して投稿原稿を作成する。各々「図1」、「表1」などと原則として図表の下段に明記する(編集の都合により適宜場所を変更することもある)。すでに刊行されている雑誌や著者から図表を引用する場合には、著作権を有する出版社あるいは学会、著者などから書面にて了承を得た上、図表に文献の記載順序に従って出典を明らかにする。画像データは仕上がり寸法で解像度350pixel/inchを目安に作成すること。

### 校 正

論文受理(accept)後に著者より事務局に送られた電子媒体による最終原稿を著者校正されたものとみなす。ただし組版面積に影響を及ぼすような改変は認めない。

### 投稿・掲載料

投稿料、掲載料は無料とする。

### 別 刷

別冊は当面の間作成しない。

### 原稿送付先

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山 1-20-1

浜松医科大学産婦人科教室内

DOHaD 研究編集部 宛